

武庫川水系河川整備計画 進行管理報告書（案） [平成26年度版] の概要

～ 平成25年度の主な取り組み ～

平成26年 9月 5日
兵庫県

1

目次

武庫川水系河川整備計画 進行管理報告書(案)の概要 ～平成24年度の主な取り組み～

1. 進行管理方法（PDCA）の概要
2. 進行管理報告書一覧表
3. 各対策の概要図（河川対策、流域対策、減災対策）
4. 平成24年度取り組み状況
 - 河川対策
 - 流域対策
 - 減災対策
 - 正常流量の確保
 - 動植物の生活環境の保全・再生
 - 流域連携

2

1. 進行管理方法（PDCA）の概要

1-1. 進行管理に関する河川整備計画の記述

<武庫川水系河川整備計画(平成23年8月)P.80 抜粋>

本計画の着実な推進を図るため、PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理、フォローアップ委員会の設置を行うとともに、地域住民等との情報の共有化を図る。

(1) 河川整備計画の進行管理

PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理を図る仕組みを導入することとし、どのような進行管理の仕組みが可能か検討を行ったうえで、下記のフォローアップ委員会(懇話会)の意見を聴き、具体化を図る。

(2) フォローアップ委員会(懇話会)の設置

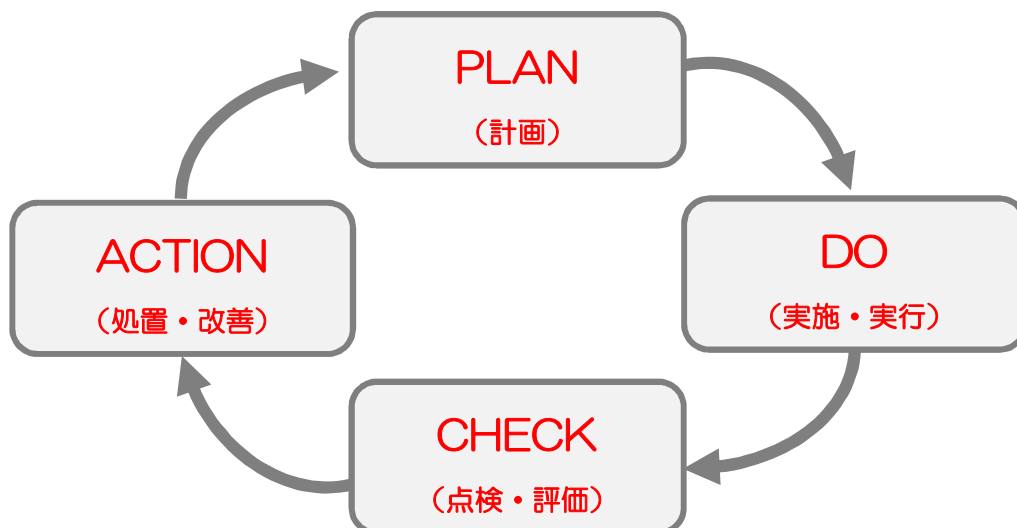
新たに、学識経験者と地域住民で構成するフォローアップ委員会(懇話会)を設け、施策や事業の実施状況等を、定期的に委員会(懇話会)に報告し意見を聴く。

また、PDCAサイクルによる進行管理の仕組みが具体化した段階で、施策や事業の実施状況の点検・評価を行い、それをフォローアップ委員会(懇話会)に報告することで説明責任を果たすとともに、委員会(懇話会)から意見を聴いて整備計画の次なる進行と改善につなげていく。

3

1-2. PDCAサイクルとは

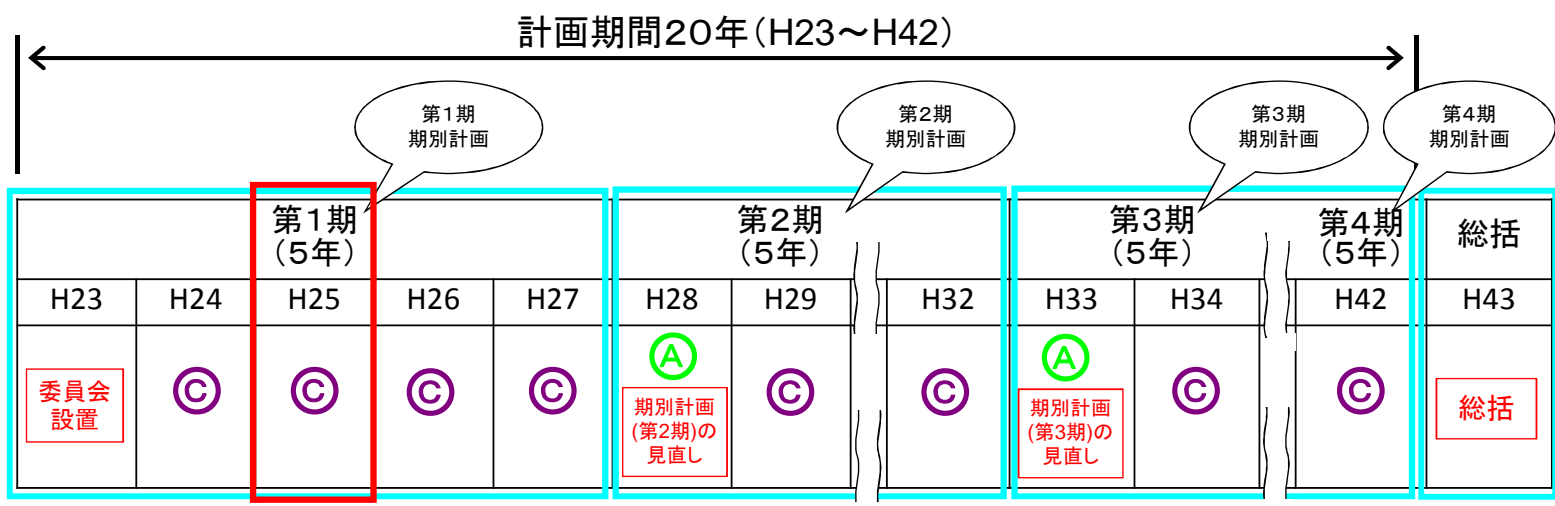
PDCAサイクルとは、計画(Plan)→実施・実行(Do)→点検・評価(Check)→処置・改善(Action)を繰り返しながら、計画の継続的な改善を図る進行管理の手法。



4

1-3. 武庫川水系河川整備計画の着実な推進を図るしくみ

- ① 計画期間20年(H23～H42)を4分割して5年を1サイクルとし、5年度毎に期別計画を定め、これを目標として取り組みを推進する。
- ② 毎年度、委員会(懇話会)の意見を聴いて、期別目標の達成に向けての微修正を加えながら各年度の取り組みを行う。 …… **C** Check
- ③ 5年に1度検証を行い、その結果を次の期別計画に反映する。 …… **A** Action



1-4. 進行管理 (PDCA) の具体的進め方 (1)

河川整備計画より抽出した実施目標毎(全22組)に、3種類の点検票(I、II、III)を用いて進行管理。

[点検票Ⅰ]	・第1期～第4期の「期別計画(P)」
[点検票Ⅱ]	・毎年度(第1期:H23～H27)の「実績(D)」
[点検票Ⅲ]	・毎年度の「点検結果(C)」、5年毎の「事業の改善(A)」

[点検票Ⅰ] ・第1期～第4期の「期別計画(P)」

河川整備計画の 事項・項目	第4章 河川整備の実施に関する事項 第〇節 ○○○○ 1 ○○○○ (1) ○○○○							
実施目標	△△△△……………△△△△を図る。							
1. 施策の概要								
△△△△……………△△△△し、……………△△△△する。								
2. 期別計画(P)								
河川整備 計画の 事項・項目	取組方針	点検指標	期別計画(P)					
			第1期 (H23～H27)	第2期 (H28～H32)	第3期 (H33～H37)	第4期 (H38～H42)		
期別の計画を記入								

1-4. 進行管理（PDCA）の具体的進め方（2）

[点検票Ⅱ] ・毎年度(第1期:H23~H27)の「実績(D)」

3. 進捗状況(第1期(H23~H27))								
河川整備計画の事項・項目	取組方針	点検指標	期別計画(P) (第1期)	実績(D)				
				H23	H24	H25	H26	H27
				毎年度の実績を記入				

[点検票Ⅲ] ・毎年度の「点検結果(C)」、5年毎の「事業の改善(A)」

4. 点検・評価(C)及び改善(A) (第1期(H23~H27))								
<p>毎年度の改善方策についても記載</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度毎の点検結果(C)</th> <th>事業の改善(A)※第1期の総括</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H23点検結果)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">5年毎の改善方策を記入</td> </tr> <tr> <td>(H24点検結果)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">毎年度の点検結果を記入</td> </tr> </tbody> </table>	年度毎の点検結果(C)	事業の改善(A)※第1期の総括	(H23点検結果)	5年毎の改善方策を記入	(H24点検結果)	毎年度の点検結果を記入	
年度毎の点検結果(C)	事業の改善(A)※第1期の総括							
(H23点検結果)	5年毎の改善方策を記入							
(H24点検結果)								
毎年度の点検結果を記入								
	<p>↓</p> <p>第2期(H28~H32)の期別計画への反映</p>							

2. 進行管理報告書一覧表

管理番号	大項目(対策名)	内容
1	河川対策	下流部築堤区間
2		下流部掘込区間
3		中流部
4		上流部及び支川
5		堤防強化(支川)
6		堤防強化(下流部築堤区間)
7		遊水地、青野ダム活用
8		洪水調節施設の継続検討(千苅ダム治水活用検討)
9	流域対策	流域対策
10	減災対策	減災対策
11		正常流量の確保

管理番号	大項目(対策名)	内容
12		緊急時の水利用
13		健全な水循環の確保
14	動植物の生活環境の保全・再生	2原則の適用
15		天然アユが遡上する川づくり
16		良好な景観の保全・創出
17		人と河川の豊かなふれあいの確保
18		水質向上
19		維持管理
20		流域連携
21		モニタリング
22		フォローアップ

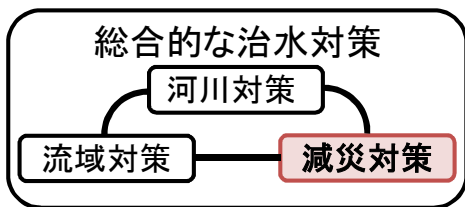
3-1. 各対策の概要図 ①河川対策



3-2. 各対策の概要図 ②流域対策



3-3. 各対策の概要図 ③減災対策



③逃げる(的確な避難のための啓発)

- i) 自助の取組の推進
 - ・ひょうご防災ネットの加入促進
- ii) 共助の取組の推進
 - ・要援護者の情報共有、支援登録台帳の整備 (神戸市、西宮市、伊丹市、三田市、篠山市)
- iii) 公助の取組の推進
 - ・避難経路、避難所の屋外表示 (尼崎市、西宮市、伊丹市)
 - ・津波避難ビルの洪水時活用 (西宮市、尼崎市)



①知る(水害リスクに対する認識の向上)

- ・手作りハザードマップの作成による水害リスクを知る機会の提供 (尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、三田市、篠山市)
- ・CGハザードマップの継続公開
- ・出前講座、職員研修による防災の担い手となる人材育成



②守る(情報提供体制の充実、水防体制の強化)

- ・避難情報を伝達するための河川監視カメラの継続配信(10箇所)(●印)
- ・水位及び氾濫予測やサイレン、回転灯による河川情報の伝達
- ・土のう積訓練、人命救助訓練の実施



④備える(水害に備えるまちづくり、水害からの復旧の備え)

- ・建物耐水機能に係る指針策定による重要施設浸水対策の推進
- ・水害に備えるためのフェニックス共済等への加入促進



● 河川監視カメラ

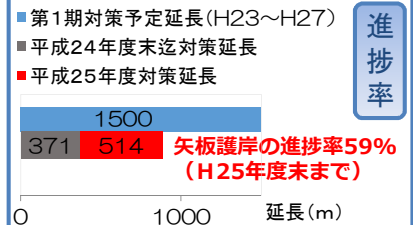
図. 二級河川武庫川流域図

4-1. 平成25年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

管理番号1

目標 戦後最大洪水を安全に流下させる。

H25 対策の概要
 対策項目：下流部築堤区間（河口～JR東海道線橋梁下流）
 工事概要：低水路拡幅のための矢板護岸工事
 対策箇所：西宮市上田東町 { No. 9+90.5～No. 11+4.6 (右岸114m)
 施工延長：514m { No. 19+0.35～No. 23 (右岸400m)



矢板工

上部コンクリート打設等

施工完了

工事インフォメーションセンターを設置

ビデオやジオラマ模型などを設置し、事業・工事内容を住民に説明



目標

戦後最大洪水を安全に流下させる。

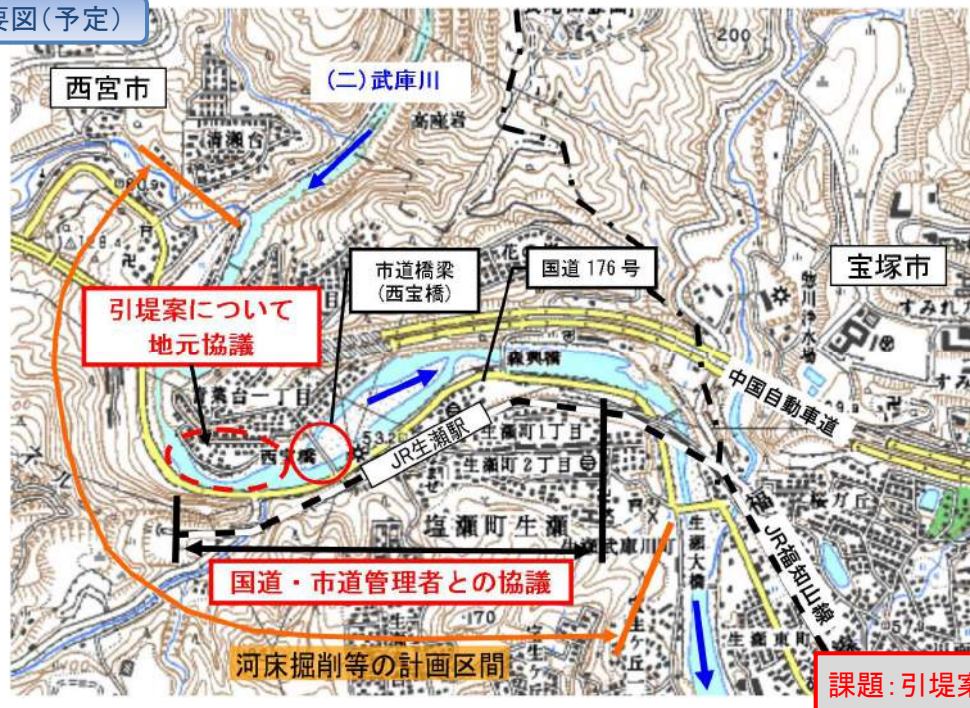
H25
対策概要

対策項目：下流部掘込区間（仁川合流点～名塩川合流点）
 工事概要：河床掘削等
 対策箇所：生瀬大橋～名塩川合流点

平成25年度取り組み

- ・改修案を提示し、地元住民意見を聴取
- ・国道管理者等と工法について協議を継続

概要図(予定)



目標

戦後最大洪水を安全に流下させる。

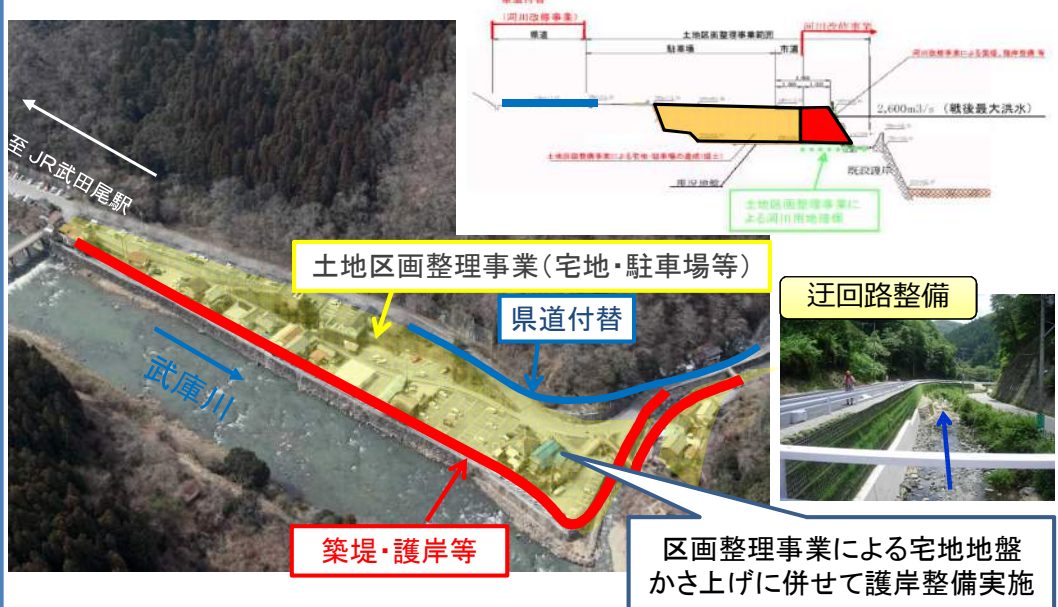
H25
対策概要

対策項目：中流部（名塩川合流点～羽束川合流点）
 工事概要：護岸等の設置
 対策箇所：武田尾（住宅地区）

平成25年度取り組み

- ・第1期（県道改良）工事に着手
- ・土地区画整理組合が設立

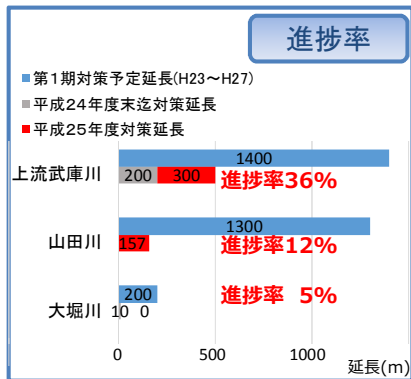
概要図(予定)



目標 戦後最大洪水を安全に流下させる。

H25
対策の
概要

対策項目：上流部（羽束川合流点～本川上流端）及び支川
 工事概要：河道掘削、護岸工、橋梁架替等
 対策箇所：上流武庫川（篠山市）、山田川（三田市）、大堀川（宝塚市）等
 施工延長：467m（上流武庫川300m, 山田川157m, 大堀川10m）



上流武庫川（篠山市）
：河道掘削 L=300m

山田川（三田市）
：護岸工 L=157m

大堀川（宝塚市）
：橋梁架替

施工前



施工前



PC橋梁架設



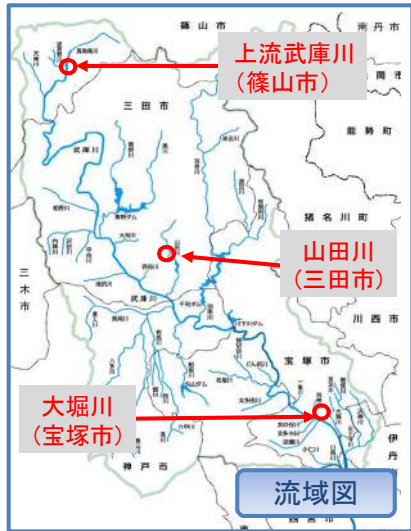
施工後



施工後



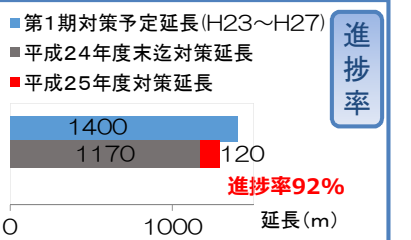
PC橋梁架設



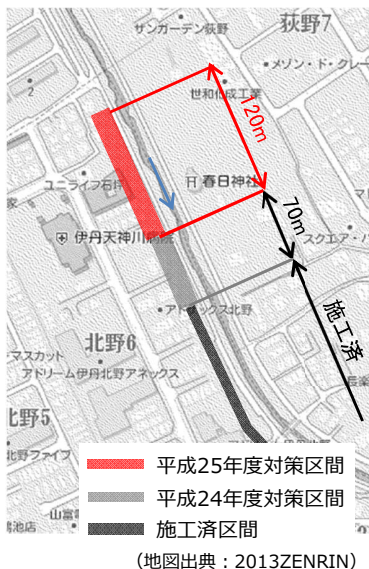
目標 洪水による浸透や侵食に対して十分な安全性を確保するため、堤防を強化する。

H25
対策の
概要

対策項目：天神川の堤防強化
 工事概要：堤防強化（表のり面被覆工による浸透対策）
 対策箇所：伊丹市北野 No. 15+110～No. 16+30
 施工延長：120m



施工箇所図



①遮水シート敷設



②連節ブロック設置



③客土充てん



④施工後



洪水による浸透や侵食に対して十分な安全性を確保するため、堤防を強化する。

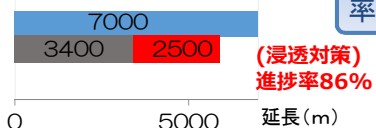
目標

H25 対策の概要

対策項目：下流部築堤区間の堤防強化(南武橋～仁川合流点)
 工事概要：堤防強化(ドレーン工法)
 対策箇所：尼崎市常松、武庫豊町、武庫元町、南武庫之荘町、稲葉荘、大荘西町、西宮市樋ノ口町、小松東町、小松南町
 施工延長：2.5km

- 第1期対策予定延長(H23～H27)
- 平成24年度未迄対策延長
- 平成25年度対策延長

進捗率



概要図



ドレーン工法



現場に応じて2種類の工法で施工

【堤防強化工事】

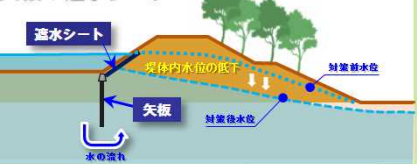
ドレーン



【ドレーン】

堤防の裏側に碎石を埋め込むドレーン工法により、堤防にしみこんだ水を速やかに排水し、堤防法面の崩れを防止します。

矢板+遮水シート



【矢板+遮水シート】

矢板と遮水シートにより堤防内へ入る水の経路が長くなるため、堤防内へ水がしみこみにくくなり堤防内水位の上昇を抑えます。

施工延長(H25)=2.5km (9地区の合計)

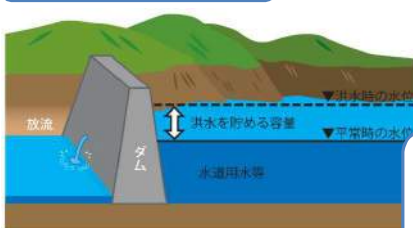
目標

遊水地の整備や青野ダムの事前放流量を拡大させることによりこれまで以上の洪水調節を行う。

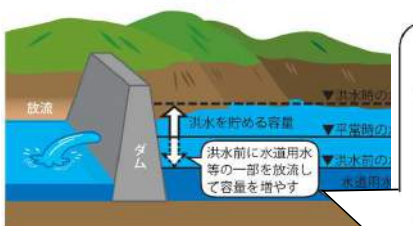
H25対策の概要

対策項目：洪水調整施設の整備
 対策概要：①青野ダムの活用、②新規遊水地の整備

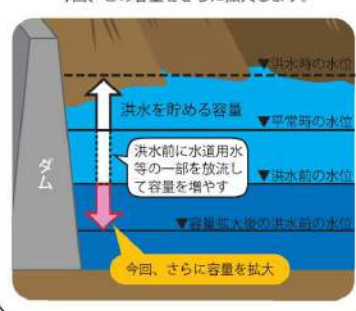
①青野ダムの活用



青野ダム放流の試行操作を継続実施中(これまでに5回事前放流を実施)



今回、この容量をさらに拡大します。



②新規遊水地の整備

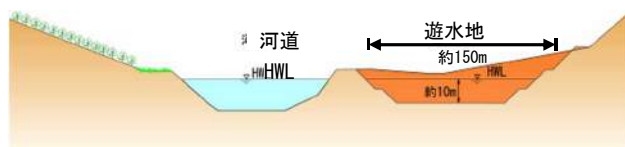


詳細設計及び模型実験を実施中

模型実験



整備横断イメージ

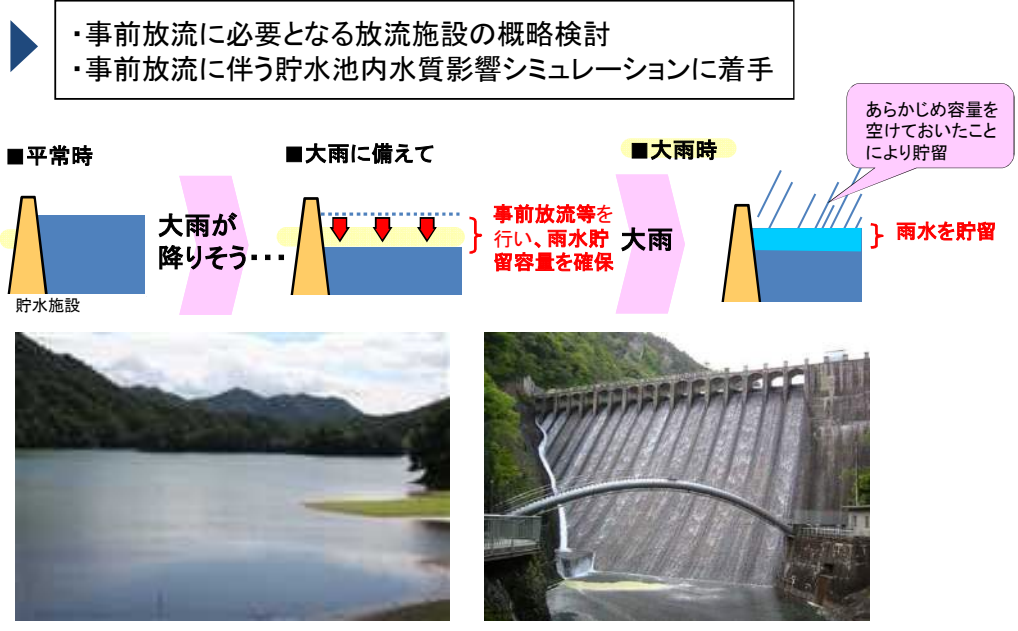
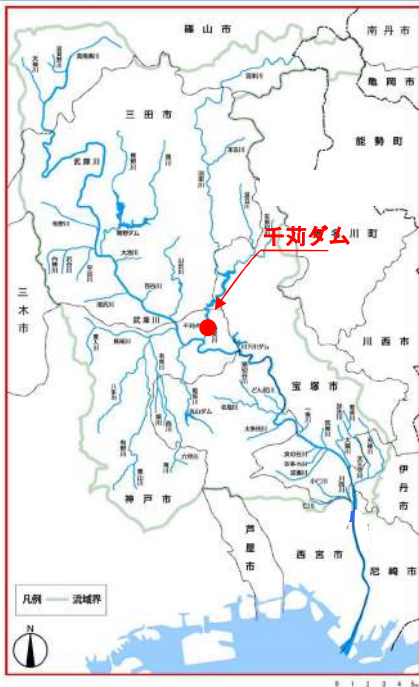


課題：事前放流は、渇水リスクや下流部の水位上昇への影響等の検証が必要

目標 さらなる安全度の向上に向け、利水ダム治水活用の検討する。

H25対策の概要

対策項目：洪水調整施設の整備及び継続検討
 対策概要：千苅ダム治水活用や新規ダム建設等の必要性・実現性の検討

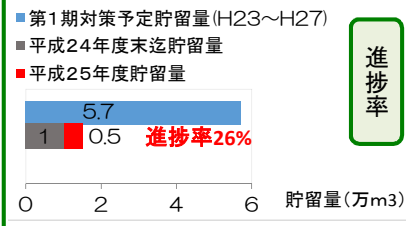


課題：治水活用については渇水リスク等の課題があるため、さらなる検討が必要

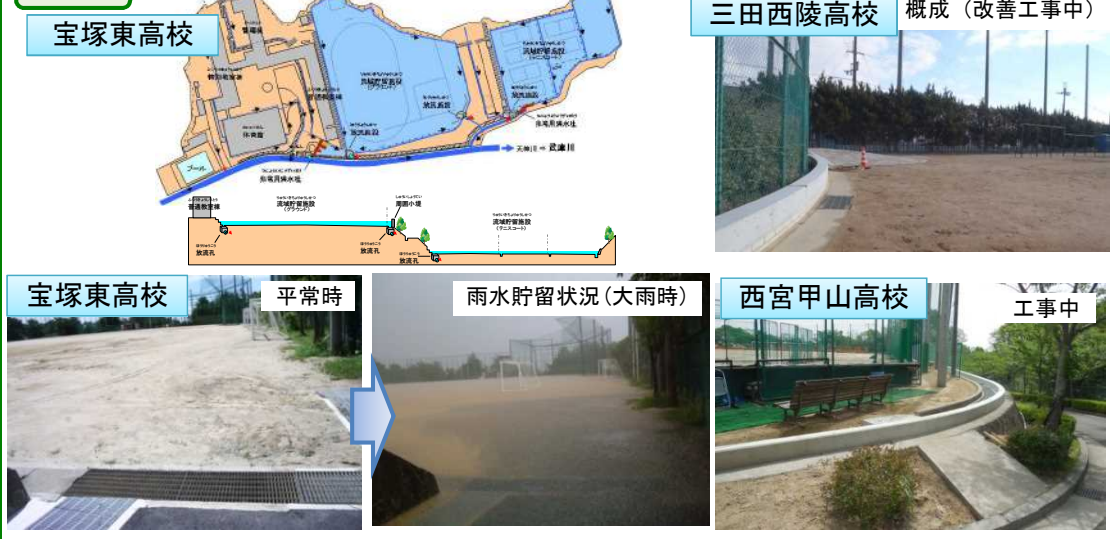
目標 学校、公園等を利用した貯留施設等を設置し、流出抑制を行う。

H25対策の概要

対策項目：(1) 貯留施設の設置による流出抑制対策の実施
 対策概要：学校、公園等を利用した貯留施設等の整備
 対策箇所：【H25整備完了】県立宝塚東高校(宝塚市)、県立阪神昆陽高校(伊丹市)
 【H25整備概成(改善工実施中)】県立三田西陵高校(三田市)
 【事業着手】県立西宮甲山高校(西宮市)、県立北摂三田高校(三田市)、
 県立宝塚北高校(宝塚市)、三田カチャータウン太陽光発電所



概要図



課題：貯留施設整備には施設所有者の理解と協力が不可欠

目標 調節地の設置を指導し、流出抑制を行う。

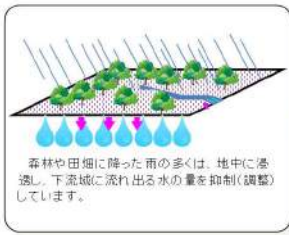
H25対策の概要 対策項目：(2) 様々な流出抑制対策の推進
 対策概要：①調整池の設置指導

条例による義務化(総合治水条例 第10条～第20条)

開発行為(土地の形質を変更する行為)によって、周辺地域に浸水被害を発生させる可能性が高まると認められたときは、雨水を一時的に貯留し、雨水の流出を抑制する「調整池」を設置するようにしなければならない。

- 1ha以上の開発：重要調整池を設置、維持管理の義務化(平成25年4月～)
- 1ha未満の開発：調整池設置、維持管理の努力義務化
- 既存調整池：指定調整池の指定、維持管理の義務化

開発行為前



開発行為後

● 調整池を設置しなかった場合



周辺地域に浸水被害を発生させる可能性が高まる。

● 調整池を設置した場合



重要調整池の設置に関する技術基準の策定

重要調整池設置の県下における技術的基準の適合確認件数

重要調整池の設置に関する技術的基準及び解説

平成25年4月
兵庫県

平成25年度：19件

(うち武庫川関連分は2件)

目標 森林を整備・保全し、流出抑制を行う。

H25対策の概要 対策項目：(2) 様々な流出抑制対策の推進
 対策概要：②森林保全と公益的機能向上

森林保全 森林を整備・保全し、水源かん養や土砂流出を防止する。

間伐・作業道の開設



緊急防災林(斜面对策)



高性能林業機械による搬出間伐



針葉樹林と広葉樹林の混交林整備



(H25整備実績)

人工林間伐等	108ha
急斜面地表表土浸食防止対策	37ha
混交林整備	30ha(着手)

課題：木材価格の低迷などにより、森林所有者の間伐等森林整備への意欲が停滞

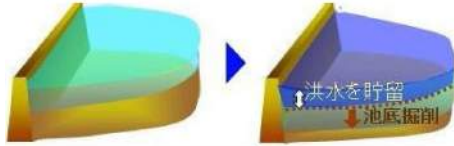
目標 **ため池・水田での貯留を推進し、流出抑制を行う。**

H25対策の概要

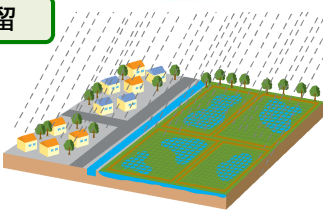
対策項目： (2) 様々な流出抑制対策の推進
 対策概要： ③ため池、水田への雨水貯留

ため池貯留

池底の掘削など → 容量増



水田貯留



水田貯留、ため池貯留に係る広報チラシを作成し、普及啓発を実施



田んぼダム実施地域を支援

■ 田んぼダムとは
 田んぼダムは、通常のせき板に切り欠きを設けた『田んぼダムせき板』を一枚追加して設置することで、洪水時に水を貯めて、切り欠きから徐々に排水を行なう。簡単な洪水調整システムです。
 ○実施対象地域
 田んぼダムの実施対象地域は、灌漑、排水溝のあるほ場整備が完了した地域です。
 ○対象作物及び実施期間
 対象作物は水稲です。また、実施期間は6月～10月の内、地域の営農に合わせた取組期間とします。

■ 西播磨県民局では、平成28年度までの3ヶ年間で、田んぼダムに取組む実施地域を支援します。また、研修会を開催するなど、田んぼダムの取組を積極的に支援します。

※ 実施地域は、自治会または農業単位など地域が支援対象、また、未整備地も対象

□ 支援内容
 ① 田んぼダムせき板を無料配布
 ② 田んぼや、ため池の活用による流域対策のプランニングを支援
 ③ 田んぼの洪水調整が実施出来るよう、畦畔補強工事や一時貯留を行なう排水溝の設置を支援（モデル地区）

<平成26年度募集内容>

【田んぼダム実施地域】
 ■ 田んぼダム建設の無料配布
 ① 自治会又は農業単位など地域が対象です。(個人単位での応募はできません)
 ② 営農済の田んぼであること
 ③ 実施期間終了する10月に管理にかかるアンケートに協力して頂ける地域

【田んぼダムモデル地区】平成26年度は3地区程度
 ■ 畦畔補強工事など一時貯留にかかる工事の実施及び活動の支援等
 ① 自治会又は農業単位など地域が対象です。
 ② 田んぼを活用した地域内外の活動が見込まれる地域であること
 ③ 活動取材等田んぼダムの普及活動にご協力頂ける地域であること

＜問い合わせ先＞ 西播磨県民局 光郷土地改良センター
 農村計画課 (担当 斎藤・木村) 連絡先 0791-58-2218

課題: 水田貯留に関する農業者の不安(畦や作物への影響)

目標 **道路側溝等の浸透化や、家庭用雨水貯留タンクの設置を促進し、流出抑制を行う。**

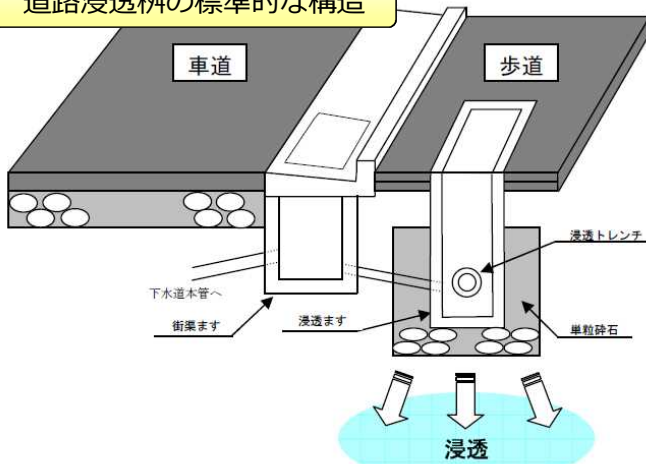
H25対策の概要

対策項目： (2) 様々な流出抑制対策の推進
 対策概要： ④その他の雨水貯留・浸透の取り組み

道路側溝等の浸透化

浸透側溝設置ガイドライン(改訂版)に基づき浸透化を推進。

道路浸透柵の標準的な構造



平成25年度実績: ・尼崎市域 L=2.5km

各戸への雨水貯留タンクの助成基数(流域7市合計)

平成25年度: 173基 [累計: 1,110基]

雨水貯留タンク



雨水貯留タンク設置イメージ



目標 大雨に備え、防災情報の発信に努める。

H25対策の概要
 対策項目 : (2) 守る 情報提供体制の充実と水防体制の強化
 取組概要 : ①避難情報の伝達、②河川情報の伝達、③水防体制の強化

②河川情報の伝達

増水警戒情報の発信による注意喚起

回転灯設置状況



道路アンダーパス部の冠水情報



【字幕式→LED式冠水情報板】



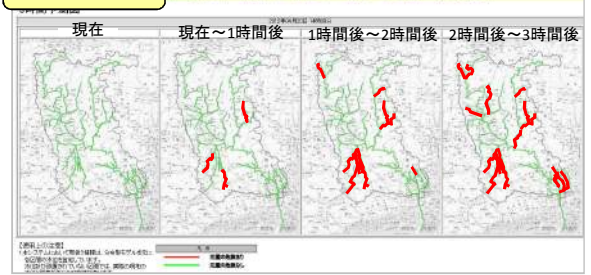
【注意喚起看板等の冠水対策】

フェニックス防災システムによる情報発信

水位予測



氾濫予測



目標 計画を上回る洪水に備え、防災情報の発信や、水防体制の強化に努める。

H25対策の概要
 対策項目 : (2) 守る 情報提供体制の充実と水防体制の強化
 取組概要 : ①避難情報の伝達、②河川情報の伝達、③水防体制の強化

①避難情報の伝達

河川監視カメラによる継続配信



武庫川水系で10箇所設置し、継続配信

「兵庫県河川監視カメラシステム」にてWeb上で閲覧可能

③水防体制の強化



土のう積訓練 (篠山市)

総合防災訓練 (宝塚市)



水防総合訓練 (尼崎市)

目標 計画を上回る洪水に備え、自助・共助・公助の取組を進める。

H25対策の概要
 対策項目 : (3) 逃げる 的確な避難のための啓発
 取組概要 : ①自助の取組の推進、②共助の取組の推進、③公助の取組の推進

①自助の取組の推進

ひょうご防災ネット加入促進

表. 「ひょうご防災ネット」の加入状況

	新規登録件数	目標
平成24年度	109,100件	40,000件/年
平成25年度	132,500件	

「ひょうご防災ネット」
 防災行政無線、広報車等の既存情報伝達手段に加え、携帯電話のメールやホームページ機能を利用して、災害発生時等の緊急時に、緊急情報(地震情報・津波情報・気象警報)や避難情報等をいち早く県民・市民の方々に発信するシステム
 URL: http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa20/pa20_000000001.html

③公助の取組の推進

津波避難ビル指定・マップ作成、洪水時活用(西宮市)



避難経路の屋外表示(伊丹市)



看板拡大図

②共助の取組の推進

災害時要支援者支援登録台帳等の整備、情報共有化の取り組みを実施
 (神戸市、西宮市、伊丹市、三田市、篠山市)

目標 計画を上回る洪水に備え、水害に備えるまちづくりや共済制度の加入を促進する。

H25対策の概要
 対策項目 : (4) 備える 水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備え
 取組概要 : ①水害に備えるまちづくりの誘導、②重要施設の浸水対策、③水害に備える共済制度の加入促進

①水害に備えるまちづくりの誘導

「流速を加味した浸水想定区域図」作成の検討に着手

②重要施設の浸水対策

↓県は建物等の耐水機能に関する指針を策定

建築物等の耐水性能に関する指針

兵庫県

電気設備の浸水対策



③水害に備える共済制度の加入促進

フェニックス共済パンフレット



「フェニックス共済」(=兵庫県住宅再建共済制度)は、住宅所有者に加入いただき、平常時から資金を寄せ合うことにより、災害発生時に被害を受けた住宅の再建・補修を支援する制度

表. フェニックス共済の加入状況(平成26年3月末時点)

	目標	全県	うち流域市
加入率(%)	15%	9.0%	7.0%

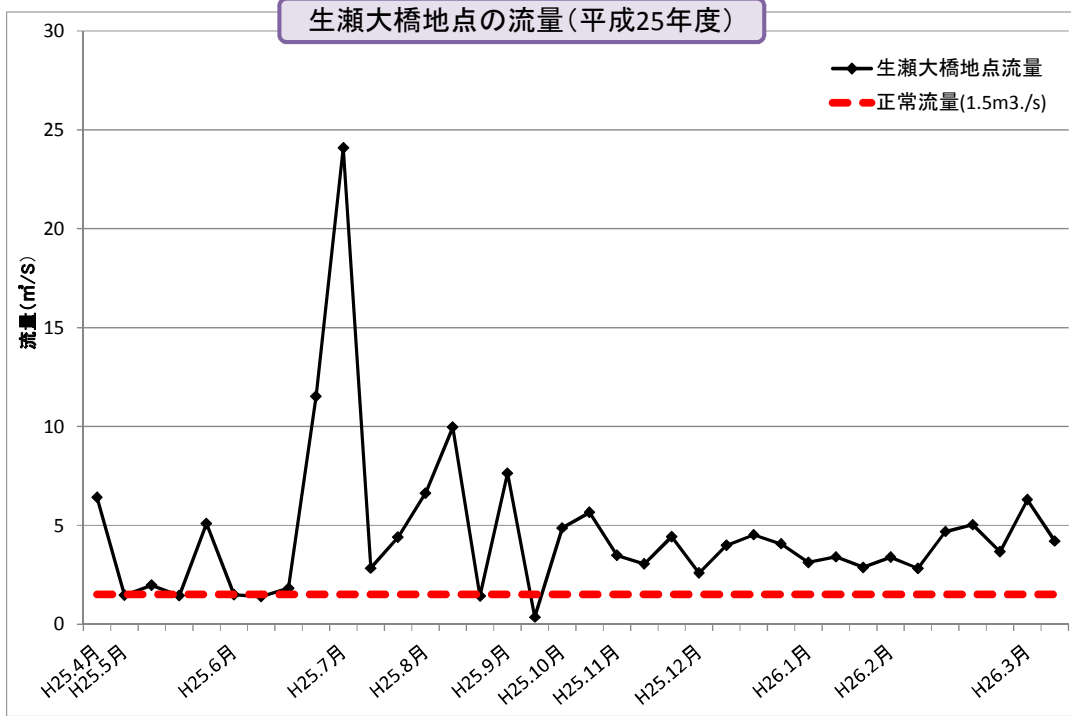
課題: 武庫川流域市のフェニックス共済加入率の低さ

目標 合理的な水利用を促進し、より豊かな流量の確保に努める。

H25対策の概要

対策項目：正常流量の確保

対策概要：生瀬大橋地点では概ね正常流量(1.5m³/s)を満足しており、今後もより豊かな流量の確保に努める。

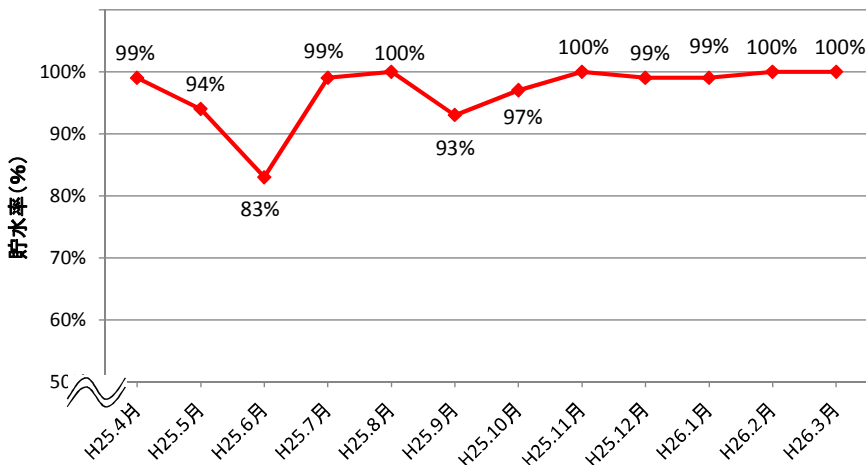


目標 渇水時には、渇水調整会議等を設置し、利水者間の相互調整が円滑に行われるよう努める。

緊急時の水利用

渇水調整会議、緊急時の河川水利用

青野ダムの貯水率(平成25年度)



渇水など該当する事案はなかった

給水ネットワークの整備



西宮市

現在の水需要においては、給水車でバックアップが可能のため、当面、パイプライン等の新たな整備は着手しない。

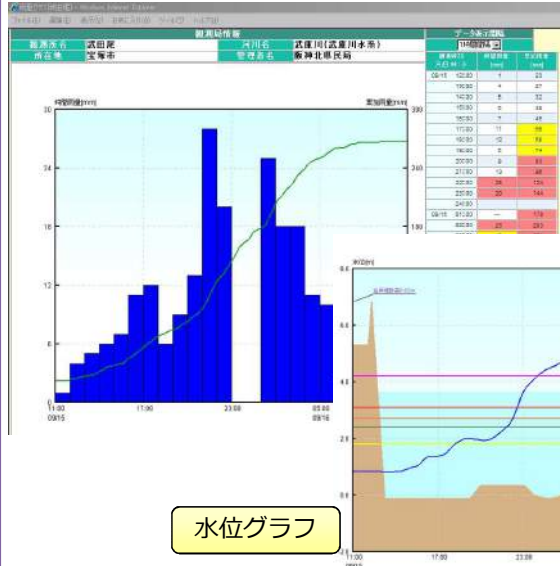
目標

森林、ため池の適正な管理や貯留浸透施設の整備により、健全な水循環を確保する。

健全な水循環の確保

流域水循環の把握

雨量グラフ



水位グラフ

雨量、水位、低水量、地下水位、県管理ダム貯水位等のデータを蓄積

森林、農地、ため池の整備や適正な管理

間伐・作業道の開設

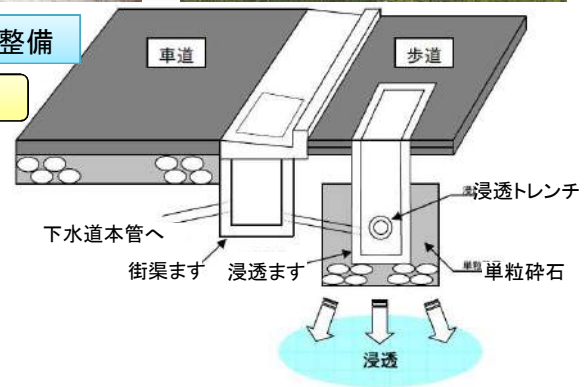


ため池の維持管理



貯留浸透施設の整備

道路側溝の浸透化



目標

多種多様な動植物が生息・生育できる豊かな自然環境の保全・再生を図る。

対策項目：動植物の生活環境の保全・再生

(「2つの原則」を適用した河川整備の実施箇所における対策)

H25対策の概要

対策概要：①下流部築堤区間における魚類等の移動の連続性の確保

②上流部における移動性が低い生物の移植対策やみお筋、瀬・淵の再生

「2つの原則」専門検討委員会で川づくり計画図を作成(平成24年8月)

①下流部築堤区間

干潟の創出



魚類等の移動の連続性を確保
(潮止堰の撤去に向けた地下水調査の実施等)



(撤去予定)

②上流部

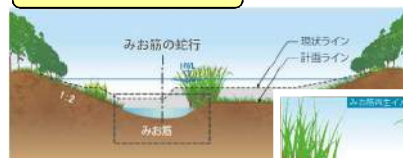
・移動性が低い生物の移植対策

- ・みお筋の再生
- ・オギ群集の再生

- ・瀬・淵の再生
- ・代償措置としての瀬・淵やワンド等の創出

- ・ワンド・たまりの再生

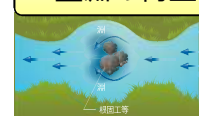
みお筋の再生



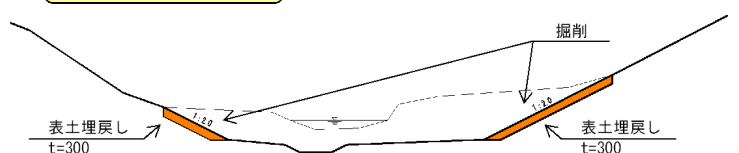
オギ群集の再生



R型淵の再生



ワンド・たまりの再生



目標 アユなど魚類にとってよい望ましい川づくりに取り組む。

H25対策の概要
 対策項目 : 天然アユが遡上する川づくり
 対策概要 : アユの産卵場造成

アユの産卵場造成状況写真

平成25年10月5日実施



課題: 魚類の移動障害の改善に向けた魚道改良

魚道改良(試行)

施工中



2号床止

施工後



目標 自然景観を基調として武庫川らしい景観を保全・創出する。(管理番号16)
 適正な河川利用の確保。(管理番号17)

良好な景観の保全・創出

武庫川らしい景観の保全

オギ群落再生に向けた取り組み (現地表土の再利用)



魅力ある河川景観の創出、水辺とのふれあいの場創出

干潟創出の検討



下流部築堤区間

適正な河川利用の確保に向けた広報

出前講座等の開催



地元自治会等を対象
 に20回開催

目標

河川管理に必要な流量等のデータを蓄積する。(管理番号18)
適切な河川の維持管理に取り組む。(管理番号19)

水質向上

・水質汚濁防止法に基づき水質・底質調査を継続

水質調査



底質調査



透明度調査



維持管理

・兵庫県河川維持管理計画に基づき効果的・効率的に維持管理を行う

河川内の樹木伐採・抜根



河川愛護活動

目標

適切な役割分担のもと、「参画と協働」による武庫川づくりに取り組む。

H25対策の概要

対策項目 : 多様な主体が取り組む武庫川づくりの支援 ①連携・交流のための機会提供
取組概要 : 「みんなで取り組む武庫川づくり交流会」の開催 (平成25年12月15日実施)

交流会チラシ



交流会の状況①(基調講演)



交流会の状況②
(パネルディスカッション)



各団体の川づくりに関する取組内容や団体同士の連携のあり方について意見交換

